

研究課題名「腎機能を考慮した抗ヘルペスウイルス薬の適正使用評価」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年11月1日から2017年10月31日までに当院において抗ヘルペスウイルス薬を処方され、投与時の年齢が16歳以上の方。

2. 研究目的・方法

研究目的

抗ウイルス薬の1つである抗ヘルペスウイルス薬は長期間使用すると、細菌と同様に必然的に薬剤耐性ウイルスが生じるため、適切な使用期間を順守すべきです。また、抗菌薬と同様に腎機能の低下した方に投与する場合には、腎機能に応じた用法・用量の調節が必要とされています。一方で、抗ヘルペスウイルス薬を処方する医師は、慢性腎不全や高齢者の方に対して専門外であることが多く、腎機能障害の方に必要な量以上に投与される可能性が危惧されます。そのため、腎機能を考慮した薬剤選択、用法用量の調節をするよう医師に提案する役割が薬剤師に求められており、他の抗微生物薬と同様に抗ウイルス薬も薬剤師による適正使用が重要視されています。そこで本研究では、当院における抗ヘルペスウイルス薬の腎機能を考慮した用量調節および投与期間を把握するため、使用状況調査を実施し、適正使用と有害事象の関連性について調査する事を目的とします。

研究方法

2014年11月1日から2017年10月31日までに当院において抗ヘルペスウイルス薬を処方されていた方のうち、16歳以上の方を対象に、腎機能における用量調節と有害事象の関連性を調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、投与開始時の身長・体重・血圧、診療科、診断名、既往歴、併用薬、有害事象の発生状況、臨床検査値(BUN、血清クレアチニン値)、尿検査(尿タンパク、尿糖、尿潜血、尿pH)、抗ヘルペスウイルス薬の種類・投与量・投与日数等

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話：052-741-2674

担当者：名古屋大学医学部附属病院薬剤部 石丸 華子

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院薬剤部 山田 清文